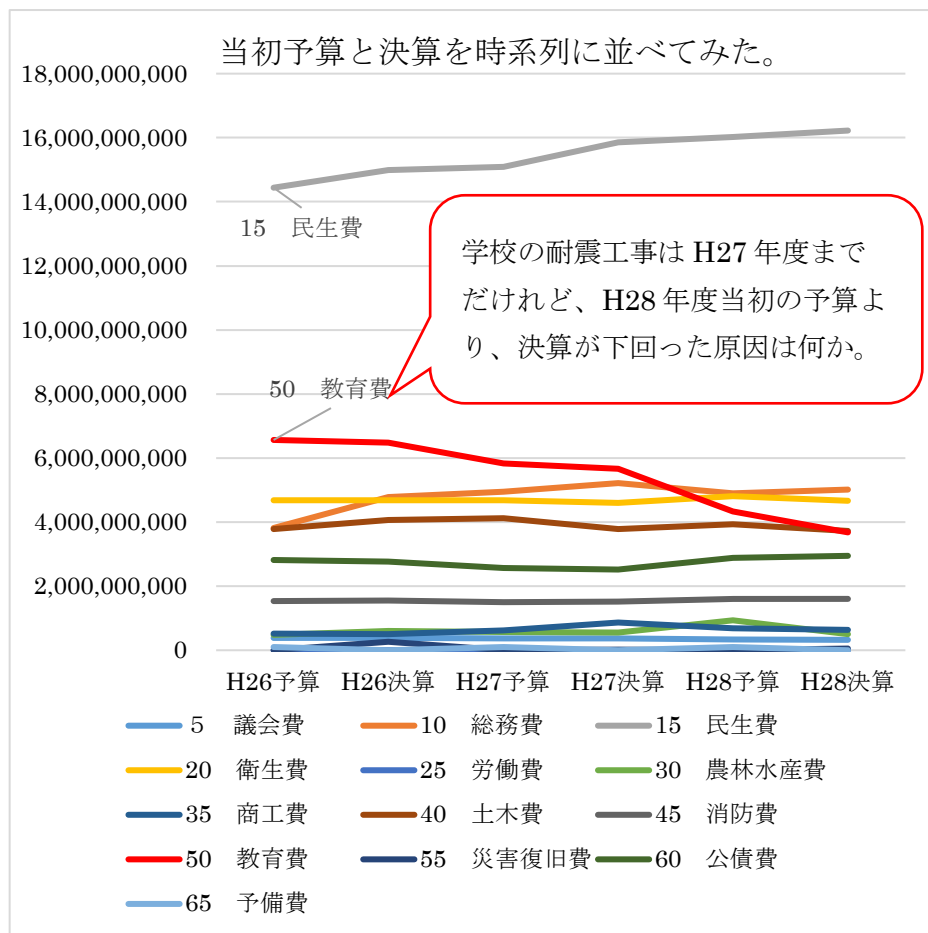
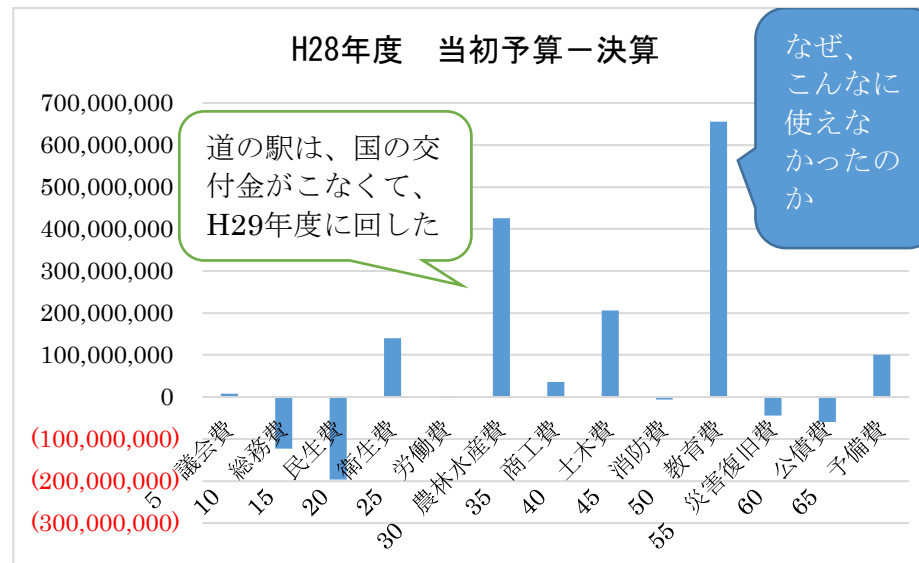


● H28年度決算 経年的に歳出をみると



● H28年度の年度初めの当初予算と決算で比較



- ▶スポーツ振興部が教育部から総務部に異動
- ▶H27年度9月の時点を中心に1割減にしてH28年度予算を立てた。
- ▶教育部は、毎年消耗品など足りないものは、12月に補正の予算を立てていた。特に中学校費の決算が削られていた。

● 職員の時間外勤務の実態…最多時間外勤務時間と担当課

	担当課	時間外勤務時間
H25年度	児童家庭課	861時間
	学校給食センター	849時間
	農林水産課	755時間
H27年度	環境管理課	1,167時間
	企画課	821時間
	保険年金課	763時間
H28年度	環境管理課	1,017時間
	社会福祉課	917時間
	総務課	736時間

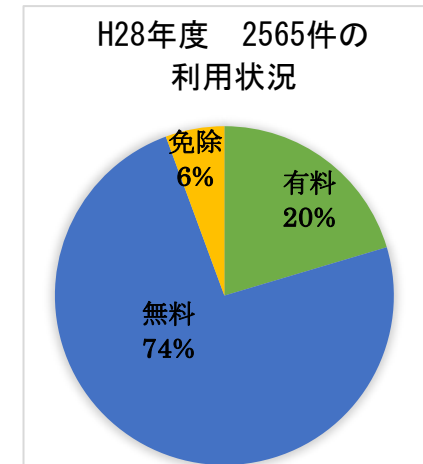
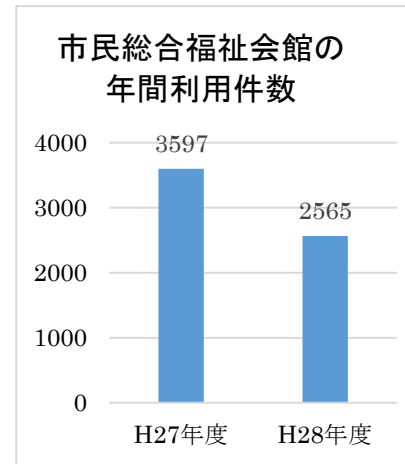
▶なぜ、残業がふえたのか、同じ職員が何年も同じ課で、継続して最多時間外勤務になっていないかを質問した。

● 市民総合福祉会館の利用状況…稼働率 30%を下回る

▶公共施設再配置計画の現状と課題に稼働率の低さが指摘されている。

▶3つの目的

- ① 地域福祉センター 地域福祉のために使用する施設
- ② 身体障害者福祉センター
- ③ 働く市民センター 働く市民の教養と生活文化の向上のために使用する施設



▶特に、稼働率 10%台

部屋	稼働率
第2 談話室	14.4%
和室	11.1%
第3 研修室	10.7%
料理実習室	11.7%
第4 会議室	14.6%

再配置計画に記載あり  
「5年以内程度で利用率が向上しない場合は、機能を廃止し、民間貸付け等に転換し歳入確保を図る」

無料でも有料でも関係なく、利用率が向上すれば、民間貸付けに転換しない。

- 木更津市国民保護計画の見直し…まだ。今年度こそ

▶国のJアラートができる前につくった計画のままであり、H19年以降改正されていない。田中の議会質問での指摘により、H28年度は、会議を開いて改正する予算が組まれたものの、結局、会議は開かれなかった。H29年度こそ、会議を開き、計画を改正するとのこと。

- 0.5t未満しか通れない市道…消防車も救急車も通れない

▶このような表記の道路が、いったいいつからなのかも記録がなく、近々表記内容を変更することになった。  
▶とてもレアな標識なのでご紹介。



- 防災訓練費…熊本地震から得られた教訓を

▶2名派遣 庁内報告会を行った。  
▶地域住民の学習会などにも、出前講座をしてほしいと要望した。

- ふるさと納税は、「入り」と「出」どちらが多いか

▶木更津市へのふるさと納税額と市民が他市区町村へふるさと納税したことによる税収の減額を比較すると、

H26年度 45万 1,939円の黒字。

H27年度 3,767万 2,459円の赤字。

H28年度 6,397万 1,509円の赤字。

▶他市区町村へふるさと納税を行うと、木更津市の財政はどんどん苦しくなります。

